

若葉

兵庫県立尼崎西高等学校 61期生 学年通信

令和5年度 第1学年

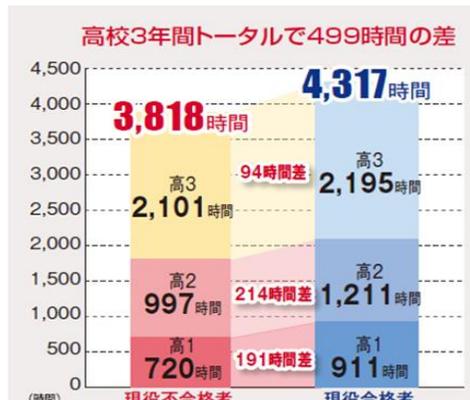
発行:令和5年 11月 24日

No.6



期末考査2週間前ですよ！！

最近のLHRでは、大学のことについてみんなで学んでいっていますね。大学入試のことはなんとなくわかってきたけど、実際1日にどれだけ勉強したらいいの…?という疑問が湧いてきた頃ではないかと思います。いうまでもなく、大切なのは「時間×質」ではありますが、「時間」をクリアしないことにはスタート地点にも立てません。実際、大学に現役合格する人は平均でどれほど勉強しているのでしょうか？



東進タイムズ 1日号, "TOSHIN TIMES on Web" http://www.toshin.com/news/topic/1205_1.php, (参照 2020/6/22)

左の資料を見てください。現役合格者の高校1年次の総学習時間は「911時間」となっています。ここから1日の平均学習時間を計算してみると… $911(\text{時間}) \div 365(\text{日}) = 2.5(\text{時間})$ 平日も休日も関係なく365日で割ったことを考慮すると、**平日の学習時間は2時間30分ほどになりそうです。**

ではここで、自分のことに置き換えて、考えてみましょう。

- もし高校1年生の今、毎日30分しか勉強していなかったら…
 $0.5(\text{時間}) \times 365(\text{日}) = \text{年間 } 183(\text{時間})$
- もし高校1年生の今、毎日1時間しか勉強していなかったら…
 $1(\text{時間}) \times 365(\text{日}) = \text{年間 } 365(\text{時間})$

毎日2時間30分勉強した人 $\langle 2.5(\text{時間}) \times 365(\text{日}) = \text{年間 } 912(\text{時間}) \rangle$ の年間総学習時間と比較すると、**1年間で毎日30分ならなんと729時間、毎日1時間なら547時間もの差が生まれてしまうことになり**ます。

また、「部活動を引退してから」「3年生になってから」頑張る—そう思っている人は要注意！なぜなら、**受験に本腰を入れ始める高校3年生になって勉強するのはみんな同じだから**です。上記の資料を見ても、現役合格者と不合格者の高校3年次の学習時間には、あまり差がついていないことがよくわかりますね（現役合格者と不合格者の差は1日平均、たったの15分）。**現役合格者と不合格者を分けたのは、3年次の「1日15分の差」ではなく、1年次・2年次の「1日30分の差」が大きいと考えるのが妥当**です。

まだ間に合います、今日から1日2時間。最低でも1時間。考査2週間前の今の雰囲気を利用して、少しずつ勉強習慣をつけていきましょう。何も、2時間ぶっ通しで勉強しろと言っているわけではありません。時間を区切って合間に休憩をはさんだり、朝と夜に勉強時間を分けたり…自分で工夫しながら、**できることから少しずつ**取り組んでいくのです。

また、その取り組み方にも注意が必要です。「提出するために」ただただ課題をこなしていませんか？課題は、「1人1人の考える力を養うために」出されているはず。課題をすべて理解し、自分のものにすることが最低条件です。そのためには、**課題を何度も繰り返し、間違えたところを復習する（いえ、復習しまくる！！）**ことが大切です。そしてその丁寧な取り組みが、定期考査にも受験にも、必ず表れてきます。「1回やっただけ」はもう終わりにしましょう。

勉強習慣をつけるなら、期末考査2週間前の今がチャンス！ 皆さんの頑張りを期待しています

体育大会を振り返って

- ◇ 競技については、みんな全力で頑張っていたと思います。自分が出た種目では、始まる前にみんなで「頑張ろ！」などの声かけや、どのクラスもみんな応援しあっていたことが良いなと思いました。誰かが緊張していたら、「大丈夫」など安心させてあげる言葉をかけている姿も良いなと思いました。そして、自分が出ていない種目にも全力で応援し、ゴールするまでしっかり応援していた姿がとても良かったです。体育大会前にクラスで話し合った「全力で取り組み、しっかり応援する」ということがしっかりできていて、とても嬉しかったです。（2組生徒）
- ◇ 演奏の面では、なにもかもが初めてで、体育の授業の時のように沢山練習したわけではなかったのですが、すらすら動けず大変なこともあり。1年目の体育大会でこのような経験ができたことはとても大きいので、来年の体育大会では今年よりすらすら動き、常に次どう行動したらいいかを把握した状態でおり、先生に指示されないよう行動します。演奏も、これが100%の力かと言われたら、その時は全力で吹いたけど、振り返ると100%とは言えない結果でした。室内で吹くと壁から音が跳ね返ってきて、大きな音が出ていると勘違いしてしまっていたけど、グラウンドでは予想通り思うように音は飛びませんでした。人数が少ない、というのは言い訳だから、1人1人が2倍以上吹くべきだなと思いました。（中略）来年の体育大会でまたチャンスがあるので、そのときは今回と同じ失敗をしないようによく考えて行動したいです。そのためにも常日頃から、誰かに頼って動くのではなく、自分で判断できる能力を身につけていきたいです。（5組生徒）
- ◇ 今回の体育大会の1番の反省は、個人的には発声の所だと思っています。「ヤー！」の声や、体操の時の「5678」の所が、もっと声を出せたんじゃないかな、と思いました。多分それは、普段の練習のときの声の小さいから本番でも大きい声で発声できなかったんだろうな、と思い、反省する所だと思っています。この体育大会を通して、良かったなと思ったこともたくさんあり、その中で1番良かったのは、みんながもっと協力する力が身についたんじゃないかな、と思いました。やっぱり、行事はみんなで一致団結してやるので、もっと心が通じた感じがしました。もう一つ、中学生や小学生の体育大会と、高校生の体育大会は、少し違うなと思いました。それは、待機中です。小・中学生は、放送や先生の指示に従って動いていたけど、その指示が高校生になって少しずつ減っていきつつあるような感じがしました。どんどん自分で考えて動くことが大切になっているんだなと思いました。今回の体育大会での反省である発声も、次に活かすと共に次に向けて目標をもって頑張っていこうと思います。（6組生徒）
- ◇ 高校生になって初めての体育大会でとても楽しかった。スウェーデンで200m走るのがしんどかったけど、クラスの人とか、たくさんの人に応援してもらって200mをしっかりと走りきれた。応援がなかったらしんどかったと思うけど、応援があっただけでしんどかったけど最後まで全力で走れた。応援があるのとないのでは、違うから自分はしっかりと応援して誰かの気持ちを鼓舞してあげたいと思った。（4組生徒）
- ◇ 全力を出しきれた体育大会だったけれど、学年種目の大縄での行動は遅くて先生にも注意されてしまいました。午前の部で緊張が吹き飛んだのか、みんな楽しめていたのは良いことだったけど、その分メリハリもつけられなくなっていったのは反省すべき点だと思います。体育の授業時から切り替えろと言われてきていたのに、楽しくなってしまって、全校生、保護者の方たちがいる前で切り替えられなかったことがとても悔しいです。（1組生徒）
- ◇ 自分の思っていた体育大会とは全く違って、2年生3年生がものすごく雰囲気が良くて、とても楽しめた体育大会でした。でもその中でもやっぱり、自分で反省しなきゃいけない所もありました。体育の授業でやってきたことがあまりきちんと発揮できなかったことが自分の中の反省点だと思っています。自分は、体育の授業から自分で声を出してとあまり言っていなかったことも1つの反省点かなと思っています。クラスみんなに毎回の授業の時間に言っておけば、毎回みんなの声が出て、良い雰囲気の授業が作れたり、いちいち先生たちにも注意されずに済んだり、本番でもそんなに不安にならなかったのかなと思いました。自分も体育委員としてもっと自分から率先して声を出してみんなが周りを気にすることなく声を出せる雰囲気にできたのかなと思いました。今回の体育大会だけでなく、今後の授業や来年の体育大会のことも考え、これからは雰囲気づくりを少しでもできればいいなと思っています。（3組生徒）

